



令和2年10月末の特殊詐欺被害発生傾向（暫定値）

◇認知件数 **107件**（前年同期比+6件）

※ 預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、キャッシュカード詐欺盗、この3つの手口だけで、認知件数の86.9%を占めます。

◇被害額 **2億2,124万8,464円**（前年同期比+約2,081万円）

※ 1件あたりの被害額は206万円余りとなっています。

県内 不審電話の通報から「受け子」逮捕の好事例！

警察官や家電量販店の従業員等をかたる不審な電話があれば、すぐ最寄りの警察署へ通報を！



「●●警察署の〇〇ですが、あなたのキャッシュカードが……。」

「私は▲▲銀行の△△と申しますが……。」



犯人逮捕にご協力ください！



犯人(受け子)

不審電話があれば 付近には必ず犯人(受け子)が潜んでいます！

事例

令和2年10月上旬、北信地方に住む高齢者宅に家電量販店の従業員を名乗る男から「あなたのカードを使って高額な商品を購入しようとする者がいる」などと電話があり、その後、警察官を名乗る男から電話で「あなたの自宅に盗聴器などが仕掛けられている」「カードを止めるので預けてください」などと言われたため、被害者は自身のカードが偽造され使われていると思い、キャッシュカードの口座番号、残高や暗証番号等を答えた。

その後、被害者は指定された路上で警察官を装う別の男にキャッシュカード等を手渡し、だまし取られたもの。

不審電話の通報を受け、犯人を東信地方の警察署管内で逮捕！